

ひまわり保育所 初の入所式 「お母さん、ワクワクするね!」

平成 29 年
第1回定例会号
第107号

5月1日発行
年4回発行

目次

- 第1回定例会・・・・・・・・・・P2～P4
- 一般質問・・・・・・・・・・P5～P7
- 予算審査特別委員会・・・・P8～P13
- 一般会計予算の内容・・・・・・・・P14
- 議会の動き・・・・・・・・・・P15
- 委員会構成が変わりました・・・・P16

お茶の間の議会情報誌

議会通信

Shinshinotsu Village Assembly Information

しんしのつ

平成
29年

第1回定例会

定例会の主な内容

平成29年第1回村議会定例会が、3月8日から15日までの8日間の会期をもって招集され、村及び教育執行方針のあと、補正予算や条例の改正など10件を審議し、原案のとおり可決いたしました。最終日は、予算審査特別委員会で審議した新年度予算5会計と意見書案2件を原案のとおり可決した他、一般質問を4名の議員から行い、閉会いたしました。主な内容は次のとおりです。

平成29年度一般会計予算など 15件の議案を審議

条 例

◎新篠津村税条例等の一部を改正する条例について
社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律等の一部を改正する法律などが公布されたことに伴い、本条例を改正するものである。

◎新篠津村介護保険条例の一部を改正する条例について
介護保険法の改正により、平成27年4月から、消費税引上げによる公費を投入して低所得者（第1段階）の保険料軽減を実施し、平成29年4月からは消費税率が10%へ引上げられることを

一 般 議 案

前提に村民税非課税世帯全体を対象として、完全実施する予定であったが、消費税率の引上げが平成31年10月に延期され、現行の第1段階への保険料軽減を継続することとなったため、本条例を改正するものである。

◎指定管理者の指定期間の変更及び指定管理者の指定について

1 指定期間の変更

○ニューしんのつゴルフ場

【変更前】
平成27年1月1日から
平成31年12月31日まで

【変更後】
平成27年1月1日から
平成29年3月31日まで

◎新篠津村宿泊研修施設

しんのつ温泉たつぷの湯

【変更前】
平成28年3月1日から
平成33年3月31日まで

◎新篠津村宿泊研修施設
しんのつ温泉たつぷの湯
【指定管理者】
新篠津村第46線南3番地
新篠津開発株式会社
代表取締役 清本 茂

◎新篠津村第4辺地総合整備計画の一部変更について
【指定期間】
平成29年4月1日から
平成33年3月31日まで

◎新篠津村第5辺地総合整備計画の一部変更について
【指定期間】
平成29年4月1日から
平成31年12月31日まで

◎新篠津村第4辺地総合整備計画の一部変更について
【指定期間】
平成29年4月1日から
平成31年12月31日まで



指定管理者が運営している宿泊研修施設「しんのつ温泉たつぷの湯」

◎新篠津村第4辺地総合整備計画の一部変更について
◎新篠津村第5辺地総合整備計画の一部変更について
除雪機械整備事業等を追加するため、計画を変更するものである。

予 算

【平成28年度補正予算】

◎一般会計

歳出補正の主な内容

〈総務費〉

- ・財政調整基金への積立金 8000万円

- ・減債基金への積立金 287万4000円

- ・ニューしんのつゴルフ場災害復旧業務委託料 800万円

- ・民生費

- ・新篠津福祉園防犯対策強化に対する地域介護・福祉空間整備等事業費補助金 50万8000円

- ・国民健康保険特別会計への操出金 2241万7000円

〈教育費〉

- ・トレーニング機器増設 90万円

〈今回の補正額〉

1347万2000円

〈補正後の予算総額〉

33億6219万1000円

◎国民健康保険特別会計

歳出補正の主な内容

- ・保険給付費 3337万5000円

- ・国保連合会負担金等の確定などによる減額

△186万9000円

〈今回の補正額〉

1628万6000円

〈補正後の予算総額〉

7億2259万6000円

◎農業集落排水事業特別会計

歳出補正の主な内容

- ・浄化センター管理委託料等の執行残の減額

△142万7000円

〈今回の補正額〉

△142万7000円

〈補正後の予算総額〉

7157万3000円

◎介護保険特別会計

歳出補正の主な内容

- ・居宅介護サービス給付費及び居宅介護サービス画給付費 2030万円

- ・施設介護サービス給付費 △4000万円

〈今回の補正額〉

△2000万円

〈補正後の予算総額〉

3億4349万円

◎後期高齢者医療特別会計

歳出補正の主な内容

- ・後期高齢者医療広域連合への納付金

△18万4000円

〈今回の補正額〉

△18万4000円

〈補正後の予算総額〉

4581万6000円



平成28年度3月補正予算

会 計 名	補正額 (万円)	補正後の 予算額 (万円)
一 般 会 計	1,347	33億6,219
国民健康保険特別会計	1,629	7億2,260
農業集落排水事業特別会計	△143	7,157
介護保険特別会計	△2,000	3億4,349
後期高齢者医療特別会計	△18	4,582

【平成29年度当初予算】

◎一般会計

歳 入

- ・人件費、扶助費、公債費 (義務的経費)

10億9899万円

- ・物件費、維持補修費、補助費等(消費的経費)

14億9118万円

※主な事業

乳児保育所開設に伴う委託料、商工業振興補助金など

4億3694万円

投資的経費

※前年度比1・3%減、4200万円減

※前年度比5・6%増

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

※前年度比1・9%減

歳 入

- ・地方交付税 15億7000万円

- ・村債(過疎債、辺地債、公営住宅建設事業債など)

3000万円減

4億1200万円

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

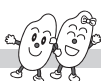
※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増

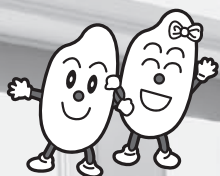
※前年度比5・6%増

※前年度比5・6%増



平成29年度当初予算

会 計 名	予算額 (万円)	前年度比 (%)
一 般 会 計	32億3,500	△1.3
国民健康保険特別会計	7億4,800	7.2
農業集落排水事業特別会計	7,100	△2.7
介護保険特別会計	3億5,800	0.3
後期高齢者医療特別会計	4,700	2.2
合 計	44億5,900	0.2



一般質問



4人の議員から4項目を問う

植島 豊 議員

- 住みやすい村づくりについて

菊地 清美 議員

- 「たつぷの湯道の駅」売店での酒類販売免許について

大塚 裕樹 議員

- 新篠津村農福連携協議会立ち上げについて

藤永 康夫 議員

- 村内の高齢者福祉の現状と今後の対応について

平成29年第1回村議会定例会が3月8日から3月15日の8日間の日程で開催され、議会最終日、4人の議員が質問し、東出村長に答弁を求めました。

一般質問

植島 豊 議員

Q 村民の幸福感を引き上げるために、必要な村づくりの理念と村長の想いは

A 計画に掲げた「耕せ人々の力みんなでつくる新しのつ」の実現を目指していく

○植島議員 質問

東出村長はこれまで、乳幼児から高齢者、農業、商業者など幅広く支援され、インフラ整備、教育、子育て環境などに力を注いでこられた。

平成27年に策定した「新篠津村まち・ひと・しごと創

生人口ビジョン」での満足度調査では、回答者の3分の2の方が「満足・やや満足」との回答であるが、一方では「交通の便」「買い物環境」の不便さなどが満足してない理由となっている。

私は、村に住む人々が幸福感を感じながら、健康で安心して生活していけることが、行政としての最終目標であると思う。

そこで、村民の幸福感を引き上げるために、村づくりに必要な基本的な理念や方向性などについて、村長の想いを伺いたい。

○東出村長 答弁

平成17年、村長に就任して以来、「コミュニティ活動を中心に連帯と協調、そして共生のまちづくり」を目指して、新篠津村の未来を支える子供たちが夢と希望の持てる村づくりを進めるため、本村の振興発展に力を傾注してきた。

今期限りでの退任を表明したが、総合計画に掲げた「耕せ人々の力 みんなで

つくる新しのつ」の実現を目指し、事業の推進をしていく。



子供たちが夢と希望の持てる村づくり

一般質問

菊地清美 議員

Q たつぷの湯売店での地酒・どぶろく販売の展望は

A 指定管理者に対応は指示している

○菊地議員 質問

昨年3月より、しんしのつ温泉たつぷの湯の指定管理者を「伊達観光開発株式会社」に指定し、管理委託をした。

この結果、酒類販売業の許可業者でなくなったためどぶろくや大法螺などの地酒が売店から消えた。

そこで、今後の酒類販売の展望と、指定管理の契約を締結する際、酒類販売業許可取得の義務づけを明記する契約が必要だと思いが、村長の考えを伺いたい。

○東出村長 答弁

指定管理者交代による「たつぷの湯」売店での特産品の取り扱いについては、昨年2月9日に自治センターで説明会を開催し、どぶろく製造者も含め、51人の出席をいただき、村から経緯の説明の後、新たな指定管理者と個別に協議をして頂いた。

順調に運営されていると思っていたが、今年になつてから、「どぶろく」製造

者から「たつぷの湯で販売ができない」と初めて話を伺ったところである。

すぐに指定管理者に対応を指示したが、分社化により、申請者名義が変わるため、議会の議決を待って、協定書の締結を行ったところであり、まもなく、酒類小売業免許が取得できると思うのでご理解願いたい。

「指定管理契約の際に酒類販売業許可を取得することの義務付けや明記すること」については、道の駅で特産品を販売することは当然であるので、敢えて、明記する必要はないと考えている。



村特産品販売の核となる「たつぷの湯」売店

一般質問

大塚裕樹 議員

Q

農福連携協議会を立ち上げ、取り組む必要があるのでは

A

村内福祉施設などの意見等も踏まえて検討したい

○大塚議員 質問

近年、人口減少等に伴い、労働力不足は、日本全体として深刻な状況にある。

本村においては、ここ10年で60名の若い農業者が立派な農業経営を目指し、一生懸命取り組んでいる。しかし、8年後には、団

塊の世代が75歳を迎え、家族経営の限界が目前にきている。そんな中、農業の単純労働における障がいのある方の就労が全国的にも実績を上げており、当別町、江別市、恵庭市では農福連携協議会を立ち上げ、実践研究を行っている。

そこで、村が主体的になつて協議会を立ち上げ、取り組む必要があるか村長の考えを伺いたい。

○東出村長 答弁

本村の状況は、施設入所とグループホームの方は、施設で運営しているリサイクルセンターや「ばん家」、除雪作業などに取り組んでいる。在宅の方も村内施設の通所や近隣市町村での就労継続支援事業などを利用して

いる。村内に在住する障がい者の方などの農業と福祉の連携は、重要であると認識しているが、そのマッチング等を担う農福連携協議会については、新たなNPO法人の活動や実績の他、村内福

社施設、福祉サービス事業所のニーズなどを踏まえて、検討したいと考えている。



グループホームの方などが就労している「ばん家」

一般質問

藤永康夫 議員

Q

2025年に向かって高齢者福祉をどのように考えているのか

A

地域住民の協力を得ながら、医療・介護サービスの整備・充実を進めたい

○藤永議員 質問

本村の高齢化率は現在約35%と3人に1人が65歳以上となり、1000人を超えたところである。平成27年4月から特養入所基準が要介護度3以上になった。

平成12年から始まった介護保険で、現在、村内で介護認定を受けている人は200人弱でこの基準で、

入所待機者が増えることになった。デイサービスなどに対応しているが、家族介護や老老介護で対応に苦慮している方が多いのも現実である。今後、更に年齢層の厚い団塊の世代が75歳を迎える2025年に向かってどのような対応を考えているのか村長に伺いたい。

○東出村長 答弁

村としては、地域包括支援センターが中心となり、ケアマネージャーが高齢者個々の望む生活ができるよう、村内外のサービス業者等を、効率的に利用すると共に、村全体の状況を踏ま

えた、包括的なサービスの提供に向けて、個々の高齢者に寄り添ったケアプランの作成に心掛けています。

そのケアプランの検証と、情報の共有を目的に、保健・医療・介護関係者の参加を得て、個別のケース会議等を実施することにより、より元気な高齢者を増やすように努力している。

高齢者がいつまでも元気で、住み慣れた地域で、安心して自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることのできる地域を目指し、関係事業者、地域住民のご協力を得ながら、医療・介護サービスの整備充実を取り進めて行きたいと考えているので、ご理解を賜りたい。



高齢者福祉の中心となる機関「地域包括支援センター」

【予算審査特別委員会】

平成二十九年年度予算

一般会計ほか四特別会計予算を審議



高井 博美 委員長

平成29年第1回村議会定例会初日（8日）に付託された平成29年度新篠津村各会計歳入歳出予算案は、予算審査特別委員会（委員長 高井博美、副委員長 植島豊）を設置し、3月10日に審査を行いました。15日に再開された本議会において審査報告を行った結果、同委員会の決定のとおり各会計予算は原案どおり可決されました。主な質疑の内容は次のとおりです。

総務費

■ 植島委員

自治区活動総合振興交付金138万円の内容を伺いたい。また、振興を図るための対策はあるのか。

□ 吉田総務課参事

自治区活動の振興を図るため各自治区に23万円を交付している。今後の振興対

■ 山元委員

策は少子高齢化により自治区・自治会の運営が厳しくなってきたので、自治区長と協議していきたい。

□ 吉田総務課参事

自治区長会議で課題等を



昨年の第5自治区夏祭り

検討していきたい。

■ 石塚委員

地域振興費・備品購入費について伺いたい。

□ 吉田総務課参事

宿泊研修施設の備品の更新を考えている。一人用ソファ18台、テーブルは14台の他、客室用寝具などを考えている。

今後も、予算の範囲内で、状況を判断しながら、対応していく。

■ 藤永委員

みのり団地の定住促進の現況を伺いたい。

□ 吉田総務課参事

28年度は、2名の方が購入している。定住支援金6万円の方が1名、温泉入浴支援の方が1名、子育て

支援金10万円の方が2名で、合計32万円を計上している。今後、当別町との連携プロジェクトなどの移住イベント等でPRしていく。



定住人口増加を目的に造成されたみのり団地

■ 大塚委員

ふるさと納税業務委託料について、季節などに合ったチラシを作成したり、中学生が修学旅行で配布しているの、中学生の声も聞いてはどうか。

□ 山田総務課主幹

イベントPR担当部署と連携して、効果的なPRを考えていく。

ふるさと納税、南団地建替事業

中学校ICT教育環境整備事業などについて質疑

■藤永委員

ふるさと納税について、お米の返礼品が占める割合が大きい。JAとの連携は考えているのか。

□山田総務課主幹

村をPRしていく上で、お米は有効。産直市場の事務局は29年度よりJAになる。今後検討していく。



村の特産品 お米

■大塚委員

当別町との連携事業の負担金200万円について、どのような活動を行うのか。

□吉田総務課参事

これまで、東京都中野区で物産展を行った他、北海道体験ツアーも行った。今年度は、東京都中野区

は大学や専門学校が多いので、若い世代の交流を通じて、首都圏との連携を図っていききたいと考えている。

■大塚委員

農業体験をしたいという声も聞いている。夏の時期に実施し、村民と中野区の学生が交流できる機会を設けてはどうか。

□吉田総務課参事

当別町と協議し、前向きに検討したい。

■菊地委員

防災対策費・需用費の非常食について伺いたい。また、アレルギー対策の非常食は備えているのか。

□山田総務課主幹

お米とパンで合計3000食、水2400本を常備している。賞味期限が5年となっているので、毎年5分の1ずつを更新している。また、アレルギー対応の非常食は、ニーズがあれば検討していく。

■大塚委員

地域振興費・備品購入費について、民間の場合、リースで購入している。寝具も定期的に更新するのが当たり前。「たつぷの湯」の運営を継続するのであれば、ある一定の運営・管理していくという部分で、備品等をリースの予算で見ることが適切だと思う。

□吉田総務課参事

村で備品をリース契約すると債務的な負担も大きくなる。今後、総合的に検討していきたい。



開業以来使用しているたつぷの湯の備品

■藤永委員

戸籍住民登録費・報償費165万円、出産祝い金の実績を伺いたい。また、増額の考えは。

□松村住民課長

28年の実績は5万円の方が10人、10万円が7人となっている。増額については、状況を見ながら検討していく。

民生費

■大塚委員

社会福祉総務費について、前年度より600万円ほど上がっている。来年度も上がっていくのか。

□松村住民課長

29年度は、高齢者福祉計画策定委託料の計上と介護保険の繰出金が上がった。介護保険特別会計の見通しについては、介護報酬の改定等もあり、人数も伸びてくる状況である。

■藤永委員

乳児保育所の申し込み状況について伺いたい。

□松村住民課長

現時点で乳児保育所は3名の申込みを受け付けている。この保育所は働く女性のための保育所となっている。働く方が多くなれば増えてくる。

■山元委員

途中で乳児保育所からへき地保育所に編入できないと聞いている。今後どのように対応していくのか。

□松村住民課長

子どもの保育環境を重視している。今後、課題等を検討していく。



平成29年度より開園した乳児保育所「ひまわり保育所」

■大塚委員

乗合タクシーについて、4年目で前年対比140%となっているが課題・問題点などはあるのか。

□松村住民課長

現在、1日30人程度、月200人以上の利用となっている。業者と連絡を密にして、課題等を順次、解決している。

■藤永委員

乗合タクシーについて、土曜日運行や時間延長が必要ではないか。

□松村住民課長

今後、状況を見て、検討していく。

衛生費

■植島委員

地域医療確立促進補助金について伺いたい。

□松村住民課長

医療法人すこやかクリニック

農林水産業費

■高橋委員

有害鳥獣駆除補助金について伺いたい。

□伊藤産業建設課参事

村にある猟友会の補助金である。以前、一般質問のあったライフル取得のための補助金は入っていない。

■大塚委員

6人の方より免許を取得したいと要望がある。猟友会の方と協議してはどうか。

□伊藤産業建設課参事

先日、猟友会の元メンバーが役場に来られて、若い方が取得したいという話を聞いた。検討していく。

■植島委員

農業次世代人材投資事業

■伊藤産業建設課参事

補助金は、準備型と開始型と2つの制度がある。開始型は、農業後継者などの希望者が多いと思う。何か良い方策は。

□伊藤産業建設課参事

現在、7人が受給している。村独自の制度は考えていない。

■山元委員

農業次世代人材投資事業補助金はハードルが高い。家族と一緒に戻る方もいるが、支援する方策は検討しているのか。

□東出村長

北海道町村会でも議論があり、年齢も45歳でなく50歳でも良いのではと議論している。議会やJA等と連携をとって要請していくことが大事だと思っている。

■大塚委員

グリーンツーリズム事業で受入農家が伸びない。何か改善策はあるか。



29年度は、12回予定している元气アップ教室

□ 伊藤産業建設課参事

会員が増えない悩みは聞いている。自治懇談会などでも周知している。グリーンツーリズムの方と相談しながら、考えていきたい。

■ 植島委員

道営土地改良事業経営体育成基盤整備事業負担金について、伺いたい。

□ 佐藤産業建設課長

5地区（主に第5）の負担金である。用水と排水に係る部分を村が負担している。水路は地元負担分の2.5%を村が負担、排水は5%が負担している。

■ 植島委員

農業予算で土地改良に国は予算をつけている。今後とも土地改良事業に助成をしていくのか。

□ 東出村長

これまでどおり負担し、経営体育成基盤整備事業をしつかりと進めていきたい。

■ 大塚委員

クリーン農業推進費の果樹試験圃場管理について、NPO法人が管理する話を聞いた。詳細を伺いたい。

□ 伊藤産業建設課参事

石狩管内で生活困窮者の支援を北海道から受託している団体より相談があったので、果樹試験圃をそのNPO法人に貸し出す。



ブドウの木などが植えられている果樹試験圃

商工費

■ 藤永委員

地域おこし協力隊について伺いたい。

□ 吉田総務課参事

3団体（観光協会、産直

市場、道の駅）に派遣し、業務の遂行の他、週1回の自主活動を行う。

将来的には、起業か継続雇用を選択することで定住化を図る。

■ 植島委員

商工業振興補助金について、約1000万円が人件費・事務費であるが、商店街が潤うような事業を展開していく考えはあるのか。

□ 吉田総務課参事

新たな事業の検討や提案について、商工会と協議していきたい。

■ 藤永委員

縁結び応援隊の活動状況などを伺いたい。

□ 吉田総務課参事

現在、9名が登録している。昨年3回の会議を実施し、情報交換を行った。2月の婚活パーティも縁結び応援隊の方の協力で19名が参加した。

土木費

■ 藤永委員

公営住宅南団地建替事業について、29年度の工事内容伺いたい。

□ 佐藤産業建設課長

昭和47年に建設した公営住宅を解体した跡地に、解体も含めて、平屋1棟4戸タイプを2棟建設する予定である。団地全体では52戸を建替える計画をしている。

■ 石塚委員

7年で52戸、今回の予算額2億4000万円、総額でいくらか。

また、実施設計業務委託料は毎年計上していくのか。



H29年度から着手する南団地建替事業

□ 佐藤産業建設課長

建設費は道路を含めると、17億円程度と考えている。設計委託料は平成28年度で基本設計と実施設計を計上し、今回、もう一タイプの1棟4戸を平成29年度予算の実施設計で計上している。

■ 石塚委員

総額17億円だが、財源や公債費比率はどうなるのか。

□ 古谷総務課長

今後の見込みについては、財源構成は交付金が約3分の1、残りは公営住宅建設事業債の財源構成になっている。これが7年間続くと、17億円の事業費に対して、約11億円が借金となる。償還年数は、比較的長いので、単年度の償還額は一気に膨らむことはない。

今後7年間、単年度の元金償還額を上回らないような借入を念頭におき、事業執行していければ、公債費比率については、問題になることはない。

■植島委員

道路維持費・工事請負費で、村道の維持補修工事は、どれくらい予定しているのか。

□佐藤産業建設課長

道路維持補修費は2100万円程度を工事費用として計上している。広域農道のオーバーレイも500m程度を予定している。

■植島委員

道路新設改良費の工事請負費で、3路線を予定しているが、2戸以上の路線の舗装完了の予定と見通しは。

□佐藤産業建設課長

現在、住宅がある未舗装路線は約4キロで路線数は12路線、住戸は15戸である。計画的に実施していけば、4年程度で解消できると考えている。



計画的に実施している道路舗装工事

教育費

■高橋委員

ICT教育環境整備事業委託料2200万円となっているが、内容を伺いたい。

□林教育委員会教育次長

中学校にタブレット型パソコン33台の購入を考えている。今回、無線LANなども整備し、教室だけでなく、体育館やグラウンドなどでも使用できるように整備する。

■藤永委員

ICT教育環境整備事業について、指導する先生の体制は。また、職業選択に強い子供を育てることが重要な課題であるが、どう考えているのか。

□林教育委員会教育次長

先生方には定期的にデジタル教科書、電子黒板の講習を受けてもらっている。職業選択に強い子供の教

育については、講師を呼んでの教育も必要と考えるが、今後検討していく。

■植島委員

現在、プール老朽度調査を行っているが、検討内容を伺いたい。

□林教育委員会教育次長

現在、コンサル会社に老朽度調査を委託しており、中間報告では、現在の維持補修だけでは老朽化が進んでいくので、新築改修、解体の判断を早急に固め、村側と協議した中で、議員からも助言をいただき、進めていきたい。

■植島委員

トレーニング指導業務委託料について伺いたい。

□林教育委員会教育次長

住民からトレーナーを配置して欲しいという要望があったのでトレーナーの配置を考えている。週に1回、午前と午後で、個々の目的別のトレーニングメニュー

の作成や器具の使い方指導などが主な内容である。



昨年、B & G 体育館に導入したトレーニング器具

■大塚委員

トレーニングトレーナーを配置して、個々のメニューを作成するとの事だが、保健師と連携していく考えはあるのか。

□林教育委員会教育次長

住民課の健康づくり事業とタイアップして進めていく。食事メニューは今後の課題。事業を進めていく中で、検討していきたい。

■山元委員

文化振興費60万円を計上しているが、その内容を伺いたい。

□今田教育委員会

社会教育係長

文化鑑賞事業では、巡回小劇場を隔年で誘致しており、その予算を委託料で計上している。

また、本格的な演劇を鑑賞する機会を設けることを目的に、劇団四季の演劇鑑賞を、中学校3年生を対象に実施する予定である。

■菊地委員

給食センター煙突改修工事の内容について伺いたい。

□林教育委員会教育次長

今年度、夏休み期間中に、工事を実施する。



煙突改修工事が予定されている給食センター

□ 佐藤産業建設課長

煙突の煙道にアスベストが使用されているので、その部分を解体する。完全に煙突を密封した状態で、煙道の上の方から、アスベスト部分を削り、アスベストを使用していない煙道を新たに入れる。

■ 藤永委員

ことばの教室について、伺いたい。

□ 林教育委員会教育次長

現在、小学生が10人、保育所の幼児が1人である。また、社会福祉協議会を通じて、保育所の保護者にもお知らせをしており、年1回、保育士と情報交換をして情報を集めている。

■ 藤永委員

SAT（スクールアシスタントティーチャー）と学校司書について伺いたい。

□ 林教育委員会教育次長

SATについては、北翔大学の学生6人を夏期と冬期に要請している。子供の学習サポートの他、スポーツも協力して頂いている。

学校司書については、毎年図書を購入をしているが、読書の専門職員がいないので、小学校に学校司書を新たに配置する。

国保特別会計

■ 植島委員

市町村事務標準処理システムについて、平成30年より国保が広域化になるが、被保険者と保険者のメリックを伺いたい。

□ 松村住民課長

事務処理については、大きく変わらなないと予想している。全道広域化のメリックは、医療費が平準化されると考えている。

介護保険特別会計

■ 石塚委員

介護給付準備基金残高について、来年度以降の見通しはどうなっていくのか。

□ 金兵住民課主幹

平成29年度は、第7期の介護保険事業計画の見直し策定の年になる。現状の給付費の伸び、第1号被保険者の増を考えると、給付費全体が伸び、保険料に跳ね返ってくると思われる。楽な会計運営ではないと感じている。

■ 藤永委員

現在、介護支援から要介護5までの認定者が190名と聞いている。今後の見通しについて伺いたい。

□ 松村住民課長

予防を進めて、サロン等に参加していただき、介護を要しない努力をした上で、介護サービスの動向を考えたい。

一般会計及び特別会計全般

■ 石塚委員

村長選のため今年度は、骨格予算であるが、総合計画後期基本計画も4年目だがその総括を伺いたい。また、すこやかクリニック建物の老朽化は村の大きな課題である。これについても伺いたい。

□ 東出村長

まちづくり総合計画については、平成20年に江別市との合併を断念し、期間のない中で早急に計画を策定し、21年より実施してきた。国の経済対策で有効な交

付金を活用し、中学校の新築、小学校の耐震改修、光ファイバー網の整備など前倒しで実施できたことから、後期基本計画では、新たな計画を盛り込んだ。

4月からは、南団地の公営住宅の建替えに着手し、第3セクターも後期の中で整理できた。

今回のまちづくり総合計画のキャッチフレーズ・目標、「耕せ人々の力 みんなでつくる新しいのつ」のもと、農業の振興と、この村に住んで良かったという環境をつくることを基本に総合計画を策定した。

クリニックについては、村から医者や病院がなくなると村民の安心感が薄れるので、なくてはならない施設である。昭和47年に建設し、45年経過し老朽化している。

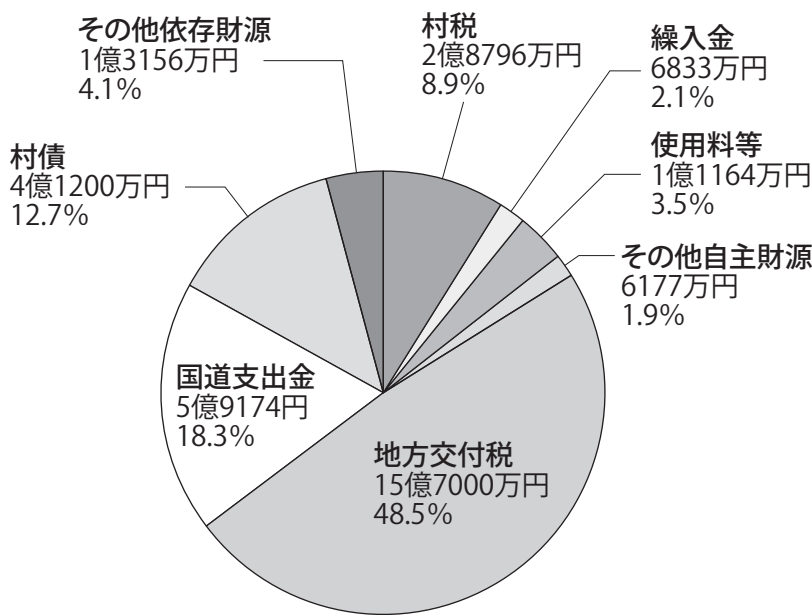
昨今、患者数の減、人件費の高騰などで経営が大変と思われる。病院をこれからどうしていくか、懸案である。内部でも、改築、新築を含めて、検討している。

一般会計予算の内容

平成29年度の予算については、村のまちづくり総合計画にある施策の着実な推進に努め、健全財政を堅持しつつ、人口減少対策及び少子高齢化など直面する課題や、子育て環境の整備など多様なニーズに的確に対応し、更なる創意と工夫により、最小の経費で最大の行政効果が得られるよう予算の編成が行われています。

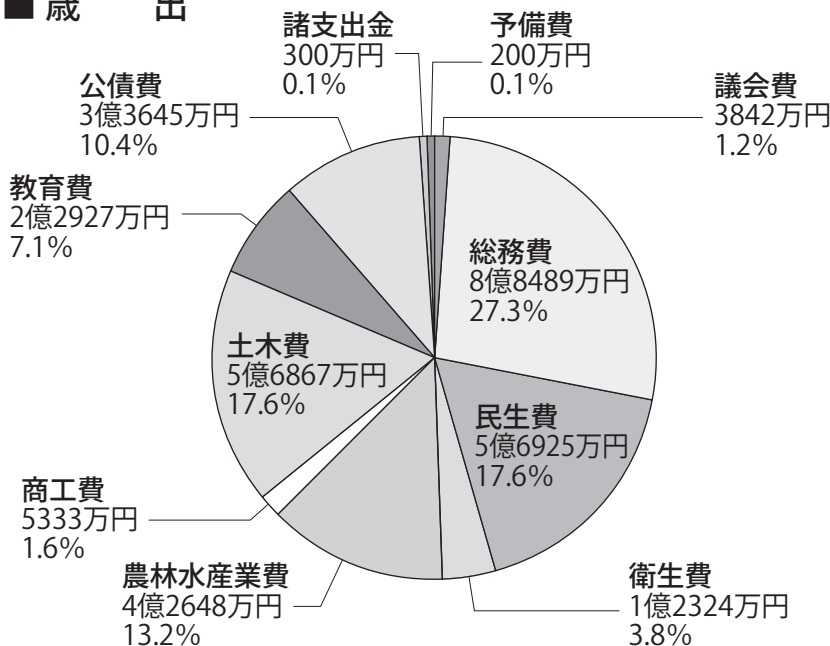
今後も、潤いと生きがいのある村となるよう努力して参りたい。

■ 歳 入



区 分		本年度予算額
自主財源	村 税	2億8796万円
	諸 収 入	3710万円
	繰 入 金	6833万円
	繰 越 金	1000万円
	財 産 収 入	1467万円
依存財源	使用料等	1億1164万円
	地方交付税	15億7000万円
	国道支出金	5億9174万円
	村 債	4億1200万円
	地方譲与税	5000万円
	地方消費税交付金	5500万円
その他交付金	2656万円	
合 計		32億3500万円

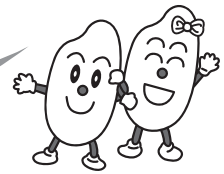
■ 歳 出



区 分	本年度予算額
議 会 費	3842万円
総 務 費	8億8489万円
民 生 費	5億6925万円
衛 生 費	1億2324万円
農 林 水 産 業 費	4億2648万円
商 工 費	5333万円
土 木 費	5億6867万円
教 育 費	2億2927万円
公 債 費	3億3645万円
諸 支 出 金	300万円
予 備 費	200万円
合 計	32億3500万円



議会の動き



恒久的な水田農業施策に関する中央要請活動

3月27日、28日の両日、藤永副議長と山元行政常任委員会副委員長が上京し、農林水産省及び道内外選出国會議員に対し、恒久的な水田農業施策に関する中央要請活動を行いました。



農水省で意見書の説明をする藤永副議長と山元行政常任委員会副委員長（現在 委員長）

平成28年度議員研修会

平成28年度新篠津村議會議員研修会が3月3日、役場2号会議室で開催し、議員のほか、村職員が研修を受けました。

講師に、北海道農政部農政課企画グループ野口正浩主幹を招き、「農業競争力強化プログラムについて」と題し、農業競争力強化支援法案の概要などの説明を受けました。



住民と議会の懇談会 ～子育て世代と意見交換～

平成29年3月22日、自治センター一般研修室で「住民と議会の懇談会」を開きました。

この懇談会は、村民の皆さんに議会活動を知っていただき、皆さんの声を村政に反映することを目的に平成24年度より開催しており、今年で5回目となります。

今回は、子育て環境をテーマに保育所及び小中学校の女性役員等を対象に意見交換を行いました。



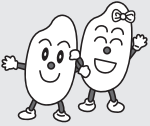
懇談会での主な意見・質問等

<子育てについて>

- ひまわり保育所で一時的に子供を預かってくれると助かる。
- 男性の保育士もいた方が良い。
- たんぼ託児所の利用料金、半日は500円で8回以上は1万円。なぜか？
- たんぼ託児所の利用料金について、夏休み・冬休みは日数が少ないので、1日料金制にしてはどうか。
- オムツが溜まるので、ゴミ収集日を週2回にして欲しい。
- 延長保育及び土曜日保育について

<その他>

- 高校生通学に係るバスの時間を岩見沢発19時の時間帯があれば良いのだが。
- 中学生の議会の傍聴を増やしてはどうか。
- 役場職員やJA職員で村外から通っている方が多いのでは。



新篠津村議会 ～今後の予定～

平成29年第2回臨時会

5月30日(火) 予定

平成29年第2回定例会

**6月12日(月)
～6月16日(金) 予定**

どなたでも傍聴できます。
皆さんのお越しを
お待ちしております。



表紙の「コメント」
4月5日、0歳から2歳児未満を対象とする村で初めての乳児保育所「ひまわり保育所」が開園しました。

委員会構成が 変わりました

平成29年3月31日付けで、行政常任委員会の高井博美委員長と議会運営委員会の藤永康夫委員長が委員長の職を辞任し、平成29年4月1日より、委員会の構成が次のとおり変わりましたので、お知らせします。

<行政常任委員会>

委員長	山元	栄	議員
副委員長	大塚裕	樹	議員
委員	高橋孝	志	議員
委員	菊地清	美	議員
委員	高井博	美	議員
委員	植島	豊	議員
委員	藤永	康	夫

<議会運営委員会>

委員長	植島	豊	議員
副委員長	藤永	康	夫
委員	山元	栄	議員
委員	高井	博	美

<議会広報特別委員会>

委員長	高橋孝	志	議員
副委員長	菊地清	美	議員
委員	大塚裕	樹	議員
委員	藤永	康	夫

※ 議会広報特別委員会の構成に変更はありませんが、改めて、お知らせします。

編集後記

4月に入り入学式シーズンも一段落し、新入生の子供たちも元気に学校に通い始める季節となりました。

本村の今年の小学1年生入学児童は過去最低の17人です。去る4月11日の新聞に人口問題研究所が2065年将来推計人口が現在の3割減の8800万人まで減少し、65歳以上の高齢化率は38%まで上昇することを公表しました。この記事をご覧になった方は、日本の将来に多くの方々の方が不安を感じたのではないのでしょうか？

国は平成6年にエンゼルプランの施策を実施し、その後、少子化担当大臣を設けたりしましたが、効果は期待外れとなり、現在に至っています。

欧州フランスの少子化対策は、驚きの3人子政策で3人目からは20歳までに減税を含めて2千万円の助成金がもらえ、不妊治療は全額無料などケタはずれの少子化対策実施で1994年に1.65だった出生率が20年間で2.01まで上げた実績があるほどです。

国と地方自治体は共に人口減少を直視し、何を差し置いても少子化対策に本腰を入れる事を最重要課題にすべきではないでしょうか。(藤永 記)